

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 2016-09

運用報告書(全体版) 第 6 期

(決算日 2019年9月17日)
(作成対象期間 2019年3月15日～2019年9月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）		
信託期間	約4年3カ月間（2016年9月30日～2020年12月21日）		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫の受益証券	
	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫	イ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） ロ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド	組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれが多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

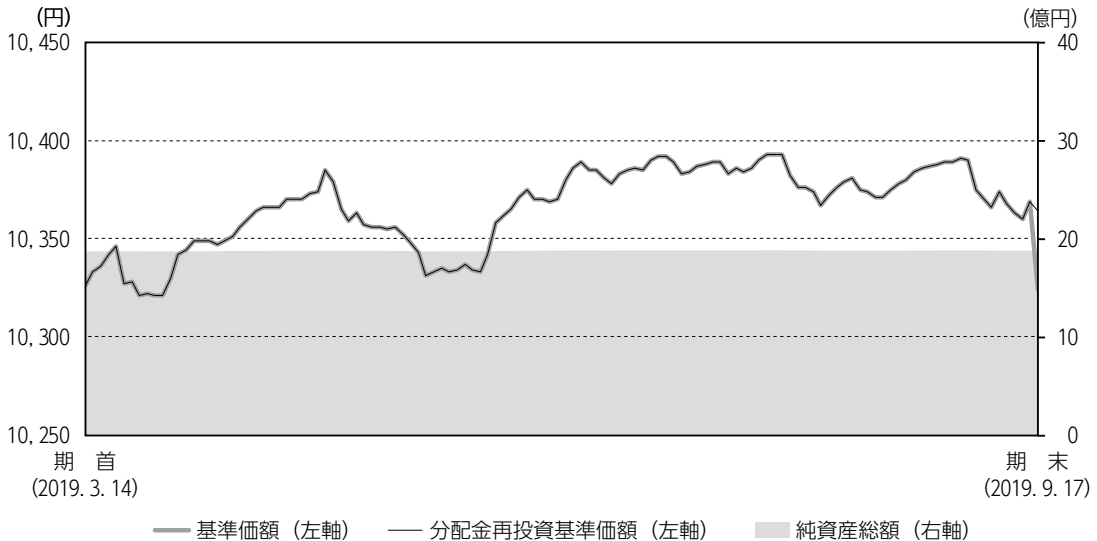
決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 回 利	公 社 債 組 入 比 率	元 残 存 本 率
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率			
設 定 (2016年 9 月30日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期 末 (2017年 3 月14日)	10,030	60	90	0.9	2.0	95.4	100.0
2 期 末 (2017年 9 月14日)	10,319	40	329	3.3	4.4	98.7	99.4
3 期 末 (2018年 3 月14日)	10,428	40	149	1.4	3.9	97.1	98.9
4 期 末 (2018年 9 月14日)	10,325	40	△ 63	△ 0.6	2.6	98.0	98.9
5 期 末 (2019年 3 月14日)	10,326	40	41	0.4	2.2	96.0	98.9
6 期 末 (2019年 9 月17日)	10,324	40	38	0.4	2.0	97.9	98.9

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：10,326円

期 末：10,324円（分配金40円）

騰落率：0.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>」の受益証券を通じて、主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や金利の低下（債券価格の上昇）などを反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり） 2016-09

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首) 2019年 3 月14日	円 10, 326	% ー	% 96. 0
3 月末	10, 321	△ 0. 0	96. 0
4 月末	10, 374	0. 5	84. 9
5 月末	10, 337	0. 1	82. 7
6 月末	10, 383	0. 6	89. 9
7 月末	10, 382	0. 5	89. 4
8 月末	10, 389	0. 6	95. 6
(期 末) 2019年 9 月17日	10, 364	0. 4	97. 9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 3. 15 ~ 2019. 9. 17)

海外債券市況

海外債券市況は、ドイツや英国の国債金利が低下しました。

当作成期首より、ＥＣＢ（欧州中央銀行）が2019年内の利上げを見送る姿勢を示したことから、ドイツの金利は低下しました。その後は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことやＥＣＢによる利下げ観測が強まったことを背景に、ドイツの金利は低下圧力が強まる展開になりました。英国では、メイ首相が辞任しジョンソン新首相が誕生したことによって、合意なきＥＵ（欧州連合）離脱への警戒感が高まったことなどから、金利は低下基調となりました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、ＥＣＢの緩和的なスタンスを背景にスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小し、多くの銘柄の金利は低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れます。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 3. 15 ～ 2019. 9. 17）

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫」の受益証券を高位に組み入れました。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は40円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額65,877,818円が、経費控除後の配当等収益28,832,029円を超過しているため、純資産額の元本超過額65,877,818円（1万口当り363.96円）を分配対象額として、うち7,240,000円（1万口当り40円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れます。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 15～2019. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0. 386%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,366円です。
（投信会社）	(28)	(0. 270)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0. 097)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 019)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0. 396	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

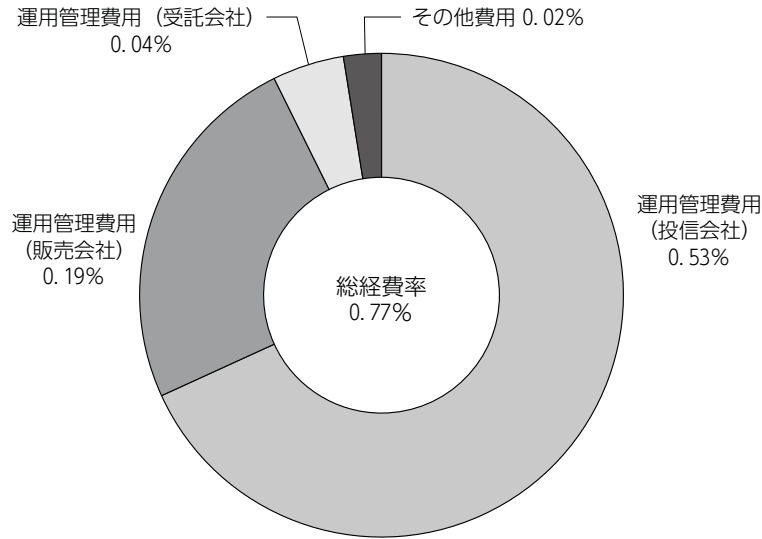
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.77%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月15日から2019年9月17日まで)

	設 定 額		解 約 額	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>	8,116	9,000	13,455	15,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>	1,672,530	1,667,191	1,859,084

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>	1,859,084	98.7
コール・ローン等、その他	24,119	1.3
投資信託財産総額	1,883,204	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.20円、1イギリス・ポンド＝134.35円、1ユーロ＝119.13円です。
- (注3) ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>において、当期末における外貨建純資産（3,313,585千円）の投資信託財産総額（3,345,288千円）に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,883,204,200円
コール・ローン等	24,119,410
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>（評価額）	1,859,084,790
(B) 負債	14,566,382
未払収益分配金	7,240,000
未払信託報酬	7,247,380
その他未払費用	79,002
(C) 純資産総額（A－B）	1,868,637,818
元本	1,810,000,000
次期繰越損益金	58,637,818
(D) 受益権総口数	1,810,000,000口
1万口当り基準価額（C／D）	10,324円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,324円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月15日 至2019年9月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,080円
支払利息	△ 3,080
(B) 有価証券売買損益	1,145,317
売買益	1,145,317
(C) 有価証券評価差損益	13,117,475
(D) 信託報酬等	△ 7,326,956
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	6,932,756
(F) 前期繰越損益金	58,945,062
(G) 合計（E＋F）	65,877,818
(H) 収益分配金	△ 7,240,000
次期繰越損益金（G＋H）	58,637,818

- (注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。
- (注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注3) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	40円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券 マザーファンド<<2020-12>>

運用報告書 第6期 (決算日 2019年9月17日)

(作成対象期間 2019年3月15日～2019年9月17日)

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） □. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債
株式組入制限	無制限

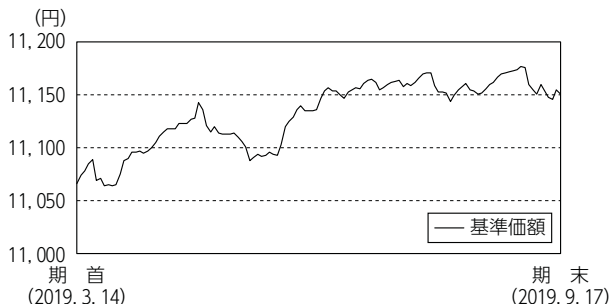
大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2019年 3月14日	円 11,066	% —	% 96.9
3月末	11,065	△ 0.0	96.5
4月末	11,128	0.6	85.2
5月末	11,096	0.3	83.0
6月末	11,153	0.8	90.1
7月末	11,159	0.8	89.6
8月末	11,174	1.0	95.7
(期 末) 2019年 9月17日	11,151	0.8	98.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,066円 期末：11,151円 騰落率：0.8%

【基準価額の主な変動要因】

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や金利の低下（債券価格の上昇）などを反映し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市況

海外債券市況は、ドイツや英国の国債金利が低下しました。

当作成期首より、ＥＣＢ（欧州中央銀行）が2019年内の利上げを見送る姿勢を示したことから、ドイツの金利は低下しました。その後は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことやＥＣＢによる利下げ観測が強まったことを背景に、ドイツの金利は低下圧力が強まる展開になりました。英国では、メイ首相が辞任しジョンソン新首相が誕生したことによって合意なきＥＵ（欧州連合）離脱への警戒感が高まったことなどから、金利は低下基調となりました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、ＥＣＢの緩和的なスタンスを背景にスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小し、多くの銘柄の金利は低下しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2019年3月15日から2019年9月17日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル 2,505	千アメリカ・ドル — (—)
	ユーロ (オランダ)	千ユーロ —	千ユーロ — (2,000)
	ユーロ (フランス)	千ユーロ 316	千ユーロ — (1,610)
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 1,636	千ユーロ — (—)
	ユーロ (ユーロ 通貨計)	千ユーロ 1,952	千ユーロ — (3,610)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2019年3月15日から2019年9月17日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
BHP Billiton Finance USA Ltd (オーストラリア) 6.25% 2075/10/19	千円 269,544		千円
RWE AG (ドイツ) 2.75% 2075/4/21	192,442		
Arkema SA (フランス) 4.75% 永久債	37,260		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当 期 末							
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,400	千アメリカ・ドル 2,491	千円 269,553	% 8.2	% —	% 8.2	% —	% —
イギリス	千イギリス・ポンド 5,800	千イギリス・ポンド 6,026	809,653	24.8	—	24.8	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 7,045	千ユーロ 7,237	862,153	26.4	—	26.4	—	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 4,000	千ユーロ 4,076	485,671	14.8	6.0	14.8	—	—
ユーロ (その他)	千ユーロ 6,500	千ユーロ 6,638	790,793	24.2	—	24.2	—	—
ユーロ (小計)	千ユーロ 17,545	千ユーロ 17,951	2,138,617	65.4	6.0	65.4	—	—
合 計	—	—	3,217,824	98.4	6.0	98.4	—	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当 期 末								
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額		
アメリカ	BHP Billiton Finance USA Ltd	社債券	% 6.2500	千アメリカ・ドル 2,400	千アメリカ・ドル 2,491	千円 269,553	2075/10/19	
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄		2,400	2,491	269,553		
イギリス	Enel SpA	社債券	7.7500	千イギリス・ポンド 1,800	千イギリス・ポンド 1,911	256,750	2075/09/10	
	SSE PLC	社債券	3.8750	2,100	2,129	286,107	永久債	
	AMERICA MOVIL SA de CV	社債券	6.3750	1,900	1,985	266,795	2073/09/06	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		5,800	6,026	809,653		
ユーロ（フランス）	Electricite de France SA	社債券	4.2500	千ユーロ 2,200	千ユーロ 2,234	266,195	永久債	
	Suez Environnement Co	社債券	3.0000	2,300	2,347	279,607	永久債	
	Arkema SA	社債券	4.7500	1,900	1,998	238,117	永久債	
	Orange SA	社債券	4.2500	645	656	78,232	永久債	
国 小 計	銘柄数 金 額	4銘柄		7,045	7,237	862,153		
ユーロ（ドイツ）	RWE AG	社債券	2.7500	千ユーロ 1,600	千ユーロ 1,639	195,293	2075/04/21	
	Bayer AG	社債券	3.0000	2,400	2,437	290,377	2075/07/01	
国 小 計	銘柄数 金 額	2銘柄		4,000	4,076	485,671		

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

当 期 末								
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ユーロ（その他）		NGG Finance PLC DONG Energy A/S Volvo Treasury AB	社債券 社債券 社債券	4. 2500 3. 0000 4. 2000	千ユーロ 2, 200 2, 300 2, 000	千ユーロ 2, 212 2, 366 2, 058	千円 263, 608 281, 898 245, 286	2076/06/18 3015/11/06 2075/06/10
国 小 計	銘柄数	3銘柄						
	金 額				6, 500	6, 638	790, 793	
通貨小計	銘柄数	9銘柄						
	金 額				17, 545	17, 951	2, 138, 617	
合 計	銘柄数	13銘柄						
	金 額						3, 217, 824	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年 9月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,217,824	96.2
コール・ローン等、その他	127,464	3.8
投資信託財産総額	3,345,288	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.20円、1イギリス・ポンド＝134.35円、1ユーロ＝119.13円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（3,313,585千円）の投資信託財産総額（3,345,288千円）に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年 9月17日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	6,574,301,067円
コール・ローン等	80,034,040
公社債（評価額）	3,217,824,233
未収入金	3,229,012,834
未収利息	36,045,613
前払費用	11,384,347
(B)負債	3,303,120,436
未払金	3,300,120,400
未払解約金	3,000,000
その他未払費用	36
(C)純資産総額（A－B）	3,271,180,631
元本	2,933,578,680
次期繰越損益金	337,601,951
(D)受益権総口数	2,933,578,680口
1万口当り基準価額（C／D）	11,151円

*期首における元本額は3,164,161,557円、当作成期間中における追加設定元本額は8,116,152円、同解約元本額は238,699,029円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2016-11 760,756,607円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2017-01 505,630,978円、ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2016-09 1,667,191,095円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は11,151円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月15日 至2019年9月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	63,782,154円
受取利息	64,338,746
支払利息	△ 556,592
(B) 有価証券売買損益	△ 37,483,379
売買益	319,097,269
売買損	△ 356,580,648
(C) その他費用	△ 199,545
(D) 当期損益金 (A + B + C)	26,099,230
(E) 前期繰越損益金	337,319,844
(F) 解約差損益金	△ 26,700,971
(G) 追加信託差損益金	883,848
(H) 合計 (D + E + F + G)	337,601,951
次期繰越損益金 (H)	337,601,951

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。